

草の根パワーが勝利を引き寄せた!!



愛媛県議会議員補欠選挙では、「安法法制の廃止を求める愛媛の会」の推薦を受け、野党統一の候補者として選挙に臨ませていただきました。このような政党を超えた市民の力の結集があったからこそ、何の組織も持たない無所属・市民派の私が補欠選挙で当選を果たすことができたのだと思います。市民力の勝利です。みなさま、おめでとうございます。

早速10月24日から任期がスタートし、「ネットワーク市民の窓」として会派を届け出ました。松山市議会よりもさらに圧倒的多数を与党が占める県議会、その雰囲気を感じつつも、私たちの税金を使う政策を充実させるために、多様な視点からまっとうな批判や提案をしていきたいと思ひます。ジェンダーの視点もしっかりと生かしていきます。

残念ながら、今年度中は一般質問の機会はありません。議会運営委員会委員長に要望しましたが、叶いませんでした。当面は委員会重視で頑張りたいと思ひます。引き続き「議会報告」も届けさせていただきます。ご意見など、届けてください。お待ちしております。(武井 たか子)



阿部悦子さん、渡部伸二さんと繋いできた県議会の市民派の議席を守らなくてはならない、松山市議を任期途中で辞職をしての出馬であり、何としても当選しなければならないというプレッシャーの中での選挙戦でしたが、いい候補者といひ支援者の頑張りがあって予想以上の票を得ることができました。ご支援ありがとうございました。

組織やお金が無くとも闘えるという愛媛の草の根のパワー健在なりを証明しました。出発式のときから、支援者の数、熱意でライバル候補たちを圧倒していたように思ひます。

さらに、事務所に集ったボランティア、スタッフの皆さんがそれぞれに素晴らしく、ご自分の意思で自主的に動かされていました。おばちゃん力をいかに発揮し、事前に用意した電話掛けマニュアル、選挙カーのウグイス嬢マニュアルなど、必要なかみたいです。ありきたりの言葉でなく、自分の言葉で、熱く語ってくれました。電話の向こうの冷たい反応にひるむことなく、相手が少しでも話を聞く様子を見せれば、巧みな話術を駆使して、必ず武井さんに投票したくなるように仕向けていく、どうしても当選させたいのだという熱意が伝わってきました。

選挙戦を通じて、思っていた以上に、有権者の皆さんが、政党のしがらみのない無所属・市民派であること、オール与党の県政に風穴をあける、脱原発、平和のために改憲反対という訴えに、耳を傾けて下さるのがわかりました。世論調査の結果が示す多くの有権者の想いと現実の政治との乖離が広がっているという背景があり、反自民、反安倍、反中村の受け皿になった側面もあつたようです。

ところで今回の補欠選挙では無効票が多く、投票総数の17・47%に当たる3万5188票で、うち約8割の2万8746票が白紙投票だということです。衆院選と重なつたために県議選の報道は極端に少なく、補欠選のあること自体知らない、候補者が新人ばかりで分からない、小選挙区の区割り変更で混乱があつたことなどが原因だと思われまふ。期日前投票が増加している中で、選挙公報の配布が遅いことは大問題です。県や市の選挙管理委員会の姿勢は大きな課題です。また、高齢者の中には、足が悪いなどの理由で、投票には行かないという人も多くいました。高齢化社会で、選挙のあり方も見直すときかもしれません。

生き活き政治ネットも新しいステージのはじまりです。閉鎖的な愛媛県、県議会の中で、困難も多いと思われまふ。草の根パワーとおばちゃん力で乗り越えていきたいです。一層のご支援をよろしくお願ひします。

(生き活き政治ネット世話人 奥田 恭子)



大阪在住 藤井玲子さんの応援ポスター

初めてのウグイス

今回の選挙、生まれて初めてウグイスをさせていただきました。これは、気持ちいい！言葉がはじめは出てこなかったけど、いつの間にかノリノリになれました。選挙って政(まつりごと)＝お祭りなのですね。武井さんの「恭子ちゃん上手よ～」という言葉にまたまた調子にのって……。

武井さんの人柄と政策がたくさんの人に響いて、政治を身近に感じられ、今まで選挙とは無縁だった人たちが、どんどん声をあげてボトムアップしてきているのを実感しました。本当に熱い思いのひとり一人の力が集まって輝いていた武井陣営、素敵でした。

一つ気になったのは、補選についてのマスコミの報道です。新聞もテレビも国選のことばかりで補選については力のない報道でした(皆無といっても過言ではないのでは?)。地元こそもっと確かな報道をするべきでは? と思いました。

しかしながら、私にとって無所属・市民派の意味がわかって、嬉しい結果までもついてきた思い出深い選挙になりました。(大野 恭子)



あなたもぜひ選挙ボランティアを

武井さんの「政治は未来の子ども達への責任です」という言葉に引き寄せられ、この度、選挙運動のお手伝いをさせていただきました。選挙カーの窓から手を振りながら政策や投票のお願いをアナウンスするウグイス嬢だ。

ある日の夕方、大学周辺を遊説でお邪魔した際、武井さんが学生さんに、政策や自分の名前ではなく「ぜひ選挙に行ってくださいね」と声を掛けた光景がとても印象に残った。若年層の政治離れが心配されるこの頃である。どの選挙カーも似たり寄ったりの文言を流す中で、若者に政治参加を呼び掛ける候補者の姿は、声を掛けられた本人は勿論、その場に居合わせた者の心の琴線に触れるものがある。

遊説を聞いた友人からも、武井さんの意見表明は押しつけがましくないからかえって共感できるわとの感想をもらった。政治家の人となりを知りたいという方は選挙のボランティアにぜひご参加下さい。

(坪井 典子)



素晴らしい当選・勝利です。国政が今ひとつの中で、明るい知らせに喜んでます。武井さんのお仲間は素敵な人ばかり、垣間見た選挙の手伝いの中で感じました。これからが大切ですね、オール与党のなかで、風当たりも強いと思われま。皆さん力を合わせ、戦争NO!・脱原発!を柱にお願いいたします。

本当に良かったです!!!

(西岡 恵子、徳島県・藍住町議会議員)

武井さんおめでとうございます。みなさん本当にご苦労様でした。この勝利は大きいですね。変革は地方から! これからもチカラを合わせてネバリ強く闘っていきましょう。(小松 正幸、安保健法の廃止を求める愛媛の会筆頭代表幹事)

《2017年10月愛媛県議会議員補欠選挙会計報告》 2017年9月～2017年11月

＜収入＞	(単位：円)
カンパ	1,605,853

＜支出＞	(単位：円)
人件費	124,800
通信費 (リーフレット発送、挨拶葉書購入)	282,816
印刷費 (リーフレット印刷、挨拶葉書印刷)	230,840
食糧費 (お茶、お菓子)	5,055
雑費 (スカーフ、用紙、紙コップ他)	20,388
選挙運動費	625,327
計	1,289,226



選挙運動費内訳 (選挙管理委員会報告分) (単位：円)	
人件費	162,000
通信費 (電話5台分他)	110,417
交通費 (フェリー代他)	27,150
印刷費 (選挙葉書印刷)	64,800
広告費 (看板、選挙カー看板)	171,840
食糧費 (運動員食費)	60,474
文具費 (ラベルシール、用紙)	24,184
雑費 (カサ、雨コート他)	4,462
計	625,327

皆さまのカンパ誠にありがとうございました。応援頂いた方々の日々のボランティアとたくさんのカンパでこの度の県議会議員補欠選挙は賄うことができました。残り316,627円は、報告書の作成および送料等「生き活き政治ネット」の活動に使わせて頂きます。(この度の県議会選挙においてカンパを下された方は、所得税控除ができます。必要の方はお申し出下さい。「生き活き政治ネット」の会計報告後の年明け2月には送付できます。)